

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

# 教育委員会の点検・評価報告書

(令和4年度対象)

令和5年8月

山武郡市広域行政組合教育委員会

## はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、すべての教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないと規定されています。

山武郡市広域行政組合教育委員会では、同項の規定により、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施し、報告書を作成しました。

### ○ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和5年度（令和4年度対象）点検・評価協力員

学識経験者（元校長）	戸村 恒夫
学識経験者（校長）	吉田 浩

## 目 次

### 第1 視聴覚教材センター

- 1 令和4年度視聴覚教材センター運営方針・事業内容等 ----- 1 頁
- 2 令和4年度視聴覚教材センター事業経過 ----- 3 頁
- 3 令和4年度視聴覚教材センター利用状況 ----- 5 頁
- 4 令和4年度視聴覚教材センター各事業の点検・評価 ----- 7 頁

### 第2 教育相談センター

- 1 令和4年度教育相談センター運営方針・事業内容等 ----- 9 頁
- 2 令和4年度教育相談センター事業経過 ----- 12 頁
- 3 令和4年度教育相談センター活動実績・利用状況 ----- 16 頁
- 4 令和4年度教育相談センター各事業の点検・評価 ----- 18 頁

## 第1 視聴覚教材センター

### 1 令和4年度視聴覚教材センター運営方針・事業内容等

#### (1) 運営方針

ア 視聴覚教材センター運営の改善を図るため、貸出業務の今後の在り方を検討するとともに、時代のニーズに合った学校教育・社会教育につながる視聴覚教材・機材等を提供する。

また、視聴覚教材・機材等を常に良好な状態において管理する。

イ 視聴覚教材・機材等の効果的な利用を図るため、指導部会と学校教育部会を統合し、情報・視聴覚教育の分野における研修講座の充実に努める。

#### (2) 事業内容

ア 教材・機材等の貸出し及び整備事業

##### (ア) 目的

a 学習面で児童生徒等の理解の手助けとなり、かつ、指導上役立つ視聴覚教材・機材等の貸出し及び整備を行う。

b 生活面で児童生徒等の理解の手助けとなり、かつ、道徳性を養う良い視聴覚教材・機材等の貸出し及び整備を行う。

##### (イ) 内容

a 視聴覚教材・機材等について、各利用団体の申込みに応じて窓口での貸出しを行う。

・受付時間 平日午前9時から午後5時まで

・経費削減及び業務見直しのため、令和4年度から搬送及び回収を行わない。ただし、遠方の小・中学校は、各市町教育委員会に設置した貸出・返却用ポストを利用する。

b センター保有視聴覚教材・機材等の紹介や情報提供を便り等で行う。

c メディアボランティアを活用し、利用者に対する機材の操作方法の説明や教材を選ぶ上での相談に応じ、目的に合った利用ができるよう支援する。

d 学校教育及び社会教育において求められている視聴覚教材・機材等を把握し、選定会議を行い、主にプログラミング教育用教材等の整備を進める。

イ 映画会・子ども映像教室事業

##### (ア) 目的

a 山武郡市内の公共施設を利用し、身近な場所で優良作品や最新のデジタル映像作品に触れる機会を設け、豊かな人間性や感性を育むとともに、地域振興に役立てる。

b デジタル映像制作や映像の原理を応用した工作を行うことで、子どもたちの映像に関する興味関心を育て、地域振興に役立てる。

##### (イ) 内容

a 6市町において公民館や図書館等の公共施設を利用し、メディアボランティアの協力のもと映画会を開催する。

b 夏季休業中に社会教育団体や地域民間企業と連携して、子ども向けのデジタル映像制作教室や映像原理工作教室を開催する。

ウ 研修講座事業

(ア) 目的

山武地域の学校教育で求められている情報・視聴覚教育の技能や知識についてニーズを把握し、必要とされる研修講座を実施する。

(イ) 内容

山武地域の学校教育における課題や要望を把握し、学校教育部会の協力を得て職員向け研修講座を年1回開講する。

## 2 令和4年度視聴覚教材センター事業経過

- 4月22日 山武郡市視聴覚教材センター指導部会・学校教育部会連絡会（オンライン開催）  
（指導部会委員1名・学校教育部会委員50名の委嘱、令和3年度事業報告、令和4年度事業について）
- 28日 教材センター通信発行  
（小学校向け 交通安全、防犯、地震教材紹介）  
（中学校向け 交通安全、防犯、地震、道徳教材紹介）  
（幼稚園・保育所・こども園向け 交通安全、地震、防災紹介）
- 5月11日 令和4年度整備教材購入  
（プログラミング学習教材 プログラミングロボ コード・A・ピラツィスト 6台）
- 13日 令和4年度整備教材購入（情報モラル等DVD6本）
- 20日 教材センター通信発行  
（小学校向け 理科、社会教材紹介）  
（中学校向け 社会教材紹介）
- 30日 令和4年山武郡市広域行政組合教育委員会会議臨時会（振興センター）
- 6月6日 教材センター通信発行（新規整備教材紹介）
- 30日 令和4年度整備教材購入  
（プログラミング学習教材 プログラミングロボット Codey Rocky 6台）
- 7月1日 山武地区校長会広報活動
- 17日 東金市映画会（東金文化会館）103名 東金文化会館共催
- 25日 山武自治研究会教育部会（振興センター）
- 27日 学校教育向け・社会教育向け教材選定委員会会議（オンライン開催）
- ・令和4年度学校教育向け教材選定委員会委員  
吉田 樹央(西中学校)・根本 和幸(山武中学校)  
今井 友久(大網東小学校)・大川 昌己(増穂北小学校)  
黒坂 勇貴(九十九里小学校)・岩井 奈月(光中学校)  
内山 毅之(芝山中学校)
  - ・令和4年度社会教育向け教材選定委員会委員  
大川戸 直美(横芝光町教育委員会社会教育委員)  
佐久間 直美(大網白里市図書室長)  
田上 弘子(九十九里町立かたかいこども園長)  
藤平 裕子(大網白里市立瑞穂幼稚園教頭)  
鑑田 千尋(東金市教育委員会社会教育副主査)
- 8月4日 山武郡市広域行政組合専門委員会会議（振興センター）
- 16日 親子映像工作教室（東金文化会館）4組8名 東金文化会館共催
- 17日 令和4年第2回山武郡市広域行政組合議会定例会（振興センター）
- 22日 令和4年第2回山武郡市視聴覚教材センター運営委員会会議（振興センター）
- ※ 子どもデジタル映像教室（東金コミュニティセンター）中止

- 9月1日 教材センター通信発行  
(小学校及び中学校向け プログラミング教材・進路教材紹介)  
(幼保こども園向け プログラミング教材紹介)
- 30日 令和4年第2回山武郡市広域行政組合教育委員会会議定例会 (振興センター)
- 11月1日 教材センター通信発行  
(小学校及び中学校向け 人権・同和教育・情報モラル教材紹介)  
(幼保こども園向け クリスマス・お正月活用教材紹介)
- 4日 山武郡市広域行政組合専門委員会議 (振興センター)  
山武郡市視聴覚教材センター指導部会研修会 38名 山武市教育委員会共催
- 14日 令和4年第1回山武郡市広域行政組合議会臨時会 (振興センター)
- 1月6日 教材センター通信発行  
(小学校及び中学校向け 防災教材紹介)  
(幼保こども園向け 交通安全・防犯教材紹介)
- 27日 定例監査
- 2月8日 山武郡市広域行政組合専門委員会議 (振興センター)
- 16日 令和5年第1回山武郡市広域行政組合議会定例会 (振興センター)
- 3月2日 令和5年第1回山武郡市視聴覚教材センター運営委員会会議 (振興センター)
- 20日 令和5年第1回山武郡市広域行政組合教育委員会会議定例会 (振興センター)

### 3 令和4年度視聴覚教材センター利用状況

#### (1) 市町別利用状況

##### 教材市町別利用状況

(令和5年3月末日現在)

市町別		東金市	山武市	大網白里市	九十九里町	芝山町	横芝光町	総合計
学校教育	上映回数	22	29	484	4	0	135	674
	視聴者数	606	1,065	966	45	0	75	2,757
	貸出本数	16	26	189	3	0	50	284
社会教育	上映回数	69	31	21	0	0	4	125
	視聴者数	1,899	1,128	390	0	0	78	3,495
	貸出本数	62	26	19	0	0	4	111
総上映回数		91	60	505	4	0	139	799
上映回数割合		11.4%	7.5%	63.2%	0.5%	0.0%	17.4%	100%
総視聴者数		2,505	2,193	1,356	45	0	153	6,252
視聴者数割合		40.1%	35.1%	21.7%	0.7%	0.0%	2.4%	100%
総貸出本数		78	52	208	3	0	54	395
貸出本数割合		19.7%	13.2%	52.6%	0.8%	0.0%	13.7%	100%
人口割合		28.6%	24.7%	24.3%	7.4%	3.5%	11.5%	100%



(2) 令和3年度・令和4年度比較

ア 教材月別上映回数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	72	65	64	103	188	58	122	25	56	129	86	27	995
4年度	15	16	49	31	33	31	8	14	97	394	96	15	799

イ 教材月別視聴者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	1,780	1,763	420	1,458	2,028	397	881	239	1,020	892	289	231	11,398
4年度	1,214	430	613	1,438	495	253	264	96	171	878	99	301	6,252

ウ 機材月別利用状況

機材名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
液晶プロジェクター	3年度	9	9	6	10	10	4	10	9	14	2	4	10	97
	4年度	10	6	3	12	11	7	8	10	12	4	9	14	106
スクリーン	3年度	7	7	6	9	7	3	6	8	11	2	1	11	78
	4年度	6	6	5	8	7	3	4	10	8	3	6	10	76
スピーカー	3年度	1	1	0	2	0	1	1	1	0	0	0	2	9
	4年度	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	7
書画カメラ	3年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4年度	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
16ミリ映写機	3年度	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3
	4年度	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4
DVDプレーヤー	3年度	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	5
	4年度	0	0	1	3	3	1	0	2	1	0	1	1	13
PCケーブル	3年度	4	3	5	4	1	1	3	5	3	0	0	3	32
	4年度	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
HDMIケーブル	3年度	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	6
	4年度	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	4
変換アダプタ	3年度	2	2	5	4	2	1	3	4	2	0	0	2	27
	4年度	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2	6
その他	3年度	2	1	0	1	5	0	0	1	1	2	1	1	15
	4年度	0	0	0	2	1	0	1	0	2	4	1	1	12
機材合計	3年度	25	23	22	31	28	11	24	29	33	9	7	30	272
	4年度	17	12	10	27	26	11	15	27	23	12	18	33	231

#### 4 令和4年度視聴覚教材センター各事業の点検・評価

事業名	教材・機材等の貸出し及び整備事業
取組内容	<p>搬送・回収業務を廃止し、原則窓口貸出として教材(DVD、VHS、フィルム)及び機材(スクリーン、プロジェクター等)を、保育所、幼稚園、こども園、小中学校、子ども会、老人団体等の要望に応じ、貸出しを行う(団体に限る。)とともに、DVDを除く教材については、廃棄計画を作成する。</p> <p>また、教材選定会議を経て、新規教材を整備する。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材貸出実績 395件(前年度比△877件)</li> <li>・機材貸出実績 231件(前年度比△41件)</li> <li>・教材の上映回数 799回(前年度比△196回)</li> <li>・主な機材の利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクター 106回(前年度比+9回)</li> <li>スクリーン 76回(前年度比△2回)</li> <li>スピーカー 7回(前年度比△2回)</li> <li>映写機 4回(前年度比+1回)</li> </ul> </li> </ul> <p>プログラミング教育教材として2種12台、情報モラルDVD教材を含む6本の新規整備を行った。今年度から搬送・回収業務を廃止し、原則窓口貸出としたことにより貸出実績は減少した。</p> <p>プログラミング教育教材の貸出しは、239件で前年度から166件の増加であった。</p> <p>DVDを除く教材については、教材リストを作成し、次年度に譲与又は不用について、構成市町と協議する準備が整った。</p>
自己評価	○ 本センターのプログラミング教育教材の貸出業務が各学校に周知され、貸出数の大幅な増加につながった。
課題・問題点等	<p>窓口貸出としたため、今後も貸出実績は減少すると予想されるが、引き続き所有している教材・機材の有効活用を図っていく。</p> <p>また、DVDを除く教材については、順次整理していく必要がある。</p>

事業名	映画会・子ども映像教室事業
取組内容	<p>公民館や図書館等の公共施設を利用し、メディアボランティアの協力のもと映画会を開催する。</p> <p>また、小学生を対象とした親子映像工作教室及び子どもデジタル映像教室を実施する。</p>
成果	<p>感染症対策としてQRコードを活用し事前予約制で募集したところ、映画会103名、親子映像工作教室4組8名の参加を得た。</p> <p>なお、子どもデジタル映像教室は、感染症拡大防止のため、講師側から中止要請があり、実施しなかった。</p>
自己評価	○ おおむね期待どおりの成果を上げた。

課題・問題点等	<p>映画会については、上映作品の選定や開催場所を検討するとともに、今後の手法等についても見直す必要がある。</p> <p>子ども映像教室については、時代のニーズに対応したスマートフォンでの撮影・発信する作業を、情報モラルと併せて体験して学ぶ場を検討する。</p>
---------	--

事業名	<b>研修・講座事業</b>
取組内容	教育現場で必要とされる情報・視聴覚教育関連講座を実施する。
成果	山武市教育委員会と共催で研修会を実施し、ICTの活用について理解を深めることができた。参加者は38名であった。
自己評価	○ おおむね期待どおりの成果を上げた。
課題・問題点等	開催時期や会場・実施内容等を十分検討し、参加しやすい日程を組むことにより、受講者数の増加及び講座の充実を図っていくことが必要である。

学識経験者の意見	<p><b>・教材・機材等の貸出し及び整備事業</b></p> <p>インターネット上の教育コンテンツの充実に伴い、教材の貸出しに関しては縮小していくことが望ましいと考える。反面地域に密着したセンターとしての特色ある映像はできる限り提供していただきたい。また、プログラミング教材に関しては日々の変化も激しいので、良いものを整備し周知することで利用を拡大していただきたい。</p> <p><b>・映画会・子ども映像教室事業</b></p> <p>映画会は子ども達のニーズを調査し、最適な内容を選定して行うことでより良いものになるのではないかと考える。募集方法は評価できると考える。</p> <p>子どもデジタル映像教室は実施できなかったとのことですが、もっと分かりやすい講座名を考え募集すると良いのではと考える。講座の内容が分かりにくい。</p> <p><b>・研修・講座事業</b></p> <p>この研修は各市町村のICT機器の整備状況を踏まえて、ニーズに応えられるように、アンケートにより内容・実施日・回数等を検討することで充実したものができると思う。</p> <p>全体を通して、大きな改善を目指している意志を感じる。より効果的で地域に還元できる取り組みが行われることを期待している。</p>
----------	---

## 第2 教育相談センター

### 1 令和4年度教育相談センター運営方針・事業内容等

#### (1) 運営方針

- ア 山武郡市内の不登校や学校不適応等の問題を抱える児童生徒の自立を促し、保護者や教職員と連携を図りながら学校へ復帰できるように支援・指導を行う。
- イ 山武郡市内の教育課題の調査研究を行うとともに、教育諸条件の充実改善のための情報や資料を関係教育機関に提供する。
- ウ 山武郡市内の幼保こ小中教育の振興並びに諸事業推進に資するために教職員向けの研修等を行う。

#### (2) 事業内容

##### ① 教育相談事業

###### ア 目的

不登校や、学校や園生活に不適応をおこしている幼児、児童、生徒等に関する教育相談活動を行う。

###### イ 内容

###### (ア) 電話相談・面接相談

山武郡市内の保護者、教職員を対象に、子供の教育上の悩みや問題点等について、電話あるいは面接相談を通じてアドバイスを行う。

a 場 所 教育相談センター及びハートフルさんぶ山武教室

b 人 員 非常勤カウンセラー3名

c 日 時 月曜日・水曜日・土曜日・第2木曜日 9:00～16:00

###### (イ) 訪問相談

学校・市町教育委員会からの要請により、家庭訪問をしてカウンセリングを行う。訪問相談により子供や家族のカウンセリングや学習支援をする。

###### a 訪問相談業務の流れ

- ・学校（教育委員会）から、カウンセラー派遣の要請を受ける。
- ・学校関係者とカウンセラーで家庭訪問をし、学校関係者がカウンセラーを紹介する。
- ・訪問宅とカウンセラーの都合等を鑑みて、定期的に家庭訪問を行う。
- ・月1回程度、訪問宅の様子を学校及び委員会へ報告し、今後の支援の在り方について協議する。

##### ② 適応指導教室事業

###### ア 目的

何らかの理由で登校できない児童生徒を対象にし、集団への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談、適応指導を行うことにより学校復帰、さらに社会的自立を目指す。

###### イ 内容

###### (ア) 各適応指導教室の開設と訪問指導員の設置について

児童生徒・保護者のニーズに対応した4教室の自由選択制

月曜日から金曜日までの午前9時から午後3時まで

【ハートフルさんぶ山武教室】教育相談センター 山武教室

【ハートフルさんぶ東金教室】東金市役所庁舎別棟2階

【ハートフルさんぶ大網白里教室】大網白里市青少年研修センター

【ハートフルさんぶ横芝光教室】横芝光町民会館

(イ) 訪問指導員の設置

訪問指導員は、必要に応じて適応指導教室へ通級できなくなった児童生徒への支援・指導を学校と連携しながら実施するとともに、臨時的に各教室や移動適応指導教室での勤務を行い、より充実した適応指導教室運営を図る。各教室1名ずつ配置している。

(ウ) 移動適応指導教室の開設について

適応指導教室から遠くて通級できない、又は通級する手段がない児童生徒への対応を図る。

所属する学校の近くにある公的施設を利用し、週1・2回程度移動適応指導教室として開設することにより、これまで家に引きこもっていた児童生徒が通級する機会をつくる。

a 移動適応指導教室開設までの流れ

- ・学校・保護者からの要請を受ける。
- ・当センターと各市町教育委員会の協議で活動場所を選定する。  
例：町民会館や公民館の一室など使用料等がかからない場所。  
毎回、部屋が変わってもよい。
- ・通常の手続きに従い、児童生徒と指導員が移動適応指導教室で活動する最初の日時と場所を確認する。
- ・2回目以降の日時は、児童生徒と指導員が相談の上決めていく。  
場所の予約等が必要な場合はその都度行う。

(エ) 通級の手続きについて

各教室とも児童生徒の通級に伴い、次のような手続きを行う。

a 面接・見学

適応指導教室の通級を希望する場合、センター職員と面接をし、通級を希望する教室を見学する。

b 仮通級・相談

児童生徒に通級する意思がある場合、一定期間の仮通級期間を設け、保護者や学校と連携を図りながら、当該児童生徒の今後の支援の在り方をセンター内で検討する。その際、センターで仮通級計画書を作成し、学校で保管する。

c 通級の申し込み

- ・保護者が通級希望書を学校長へ提出する。
- ・学校長は、通級申請書を作成し、通級希望書の写しとともに市町教育委員会に提出する。
- ・市町教育委員会は、学校からの申請書に対して同意した後、通級希望書の写し及び申請書を組合教育委員会へ提出する。
- ・組合教育長は、通級を承諾した場合、通級承諾書により校長に報告するとともに、市町教育委員会には通級承諾書の写しを添えて報告する。

d 通級状況の報告

市町教育委員会及び学校長へ毎月の通級状況を、適応指導教室通級状況通知書で報告する。(仮通級期間も含む)

(オ) 通級が継続できなくなった児童生徒の対応について

適応指導教室に通級をはじめたものの、通級が継続できなくなった児童生徒については、学校・家庭と協議し、訪問指導員が家庭訪問し、支援しながら適応指導教室への通級を促す。

- (カ) 通級している児童生徒・保護者のカウンセリングの奨励  
児童生徒及び保護者は、仮通級期間にセンターのカウンセラーとカウンセリングをする場を設定する。また、ある程度定期的に（1～2カ月に1回程度）カウンセリングを受けられるようにしていく。センターのカウンセラーは、定期的に適応指導教室を巡回し、児童生徒・保護者・指導員の支援に当たるようにする。
- (キ) 教育相談ボランティアの設置  
大学生や大学院生・退職した教員等に教育相談ボランティアとして登録してもらい、児童生徒への学習支援等を行う。
- (ク) 適応指導教室ごとの事例検討会の実施  
各教室の指導員、教育相談センターカウンセラー、教育相談センター職員で、通級している児童生徒の適応指導教室での生活状況や学校への復帰について話し合う。適応指導教室ごとに毎月1回程度行う。
- (ケ) 適応指導教室指導員の研修  
通級する児童生徒が抱える多様化した問題に対応していくために、教育相談センターカウンセラー等を活用し、適切な支援の在り方についての研修を推進する。
- (コ) 関係機関との連携について
  - a 市町教育委員会との連携
    - ・適応指導教室に通級している児童生徒や通級を希望している児童生徒の情報を共有していく。
    - ・各市町が主催する生徒指導・教育相談担当者会議に積極的に参加し、学校が抱えている問題等について情報を得る。
  - b 各学校・学級担任との連携
    - ・毎月、通級状況通知書を各学校へ届けることによって、適応指導教室に通級している児童生徒に関しての情報を共通理解する。
    - ・適応指導教室に通級している児童生徒の学級担任との連絡会議を学期に1回程度開催する。
    - ・通級児童生徒は原則的に月末に月の通級状況を学級担任へ報告する。
    - ・4月を登校チャレンジ期間とし、学校との連絡を密にしながら登校できるように支援していく。
  - c 家庭支援関係ネットワーク会議との連携  
東上総教育事務所山武分室・各市町教育委員会・山武健康福祉センター・さんネット・訪問相談担当教員・スクールソーシャルワーカー・各市子育て支援課等が長欠児童生徒への対応策について話し合い、具体的な支援をしていく。

### ③ 研修講座事業

#### ア 目的

保育所、幼稚園、こども園、特別支援学校及び小中学校教職員を対象とし、教育相談に関する実践力を高め、現場での相談活動の中核として活動できる力量を形成する。

#### イ 内容

(ア) 教育相談夏期講座

(イ) 特別な支援を要する児童生徒への対応についての学習会

## 2 令和4年度山武郡市教育相談センター事業経過

4月5日 カウンセラー・指導員合同会議（振興センター）

カウンセラー3名【江波戸・平渡・細田】  
指導員 20名【乙間・中工・今井・中村・川越・齊藤・才田・塚田・安藤・葛生・中里・大高・鈴木・杉山・藤田・五木田・金子・木島・萩原・栗田】

8日 相談業務・適応指導教室開始

13日 東金教室・大網白里教室へのカウンセラー訪問

15日 構成市町教育委員会訪問（東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町）

20日 山武教室へのカウンセラー訪問

21日 第9回GAA定例会

27日 横芝光教室へのカウンセラー訪問

5月9日 山武教室事例検討会

11日 大網白里教室事例検討会・大網白里教室へのカウンセラー訪問

第1回東金市小中学校長欠教育相談連絡会議（東金市役所）

16日 学校訪問（挨拶及び教育相談センターのパンフレット配付）  
（～5月23日 山武郡市内の小中学校）

東金教室事例検討会

18日 山武教室・東金教室へのカウンセラー訪問

19日 東上総地区小中生徒指導推進研究協議会（東上総教育事務所）

20日 第1回家庭支援関係ネットワーク会議（振興センター）

25日 横芝光教室事例検討会・横芝光教室へのカウンセラー訪問

大網白里市いじめ・長欠対策及び生徒指導担当者会議（大網白里市役所） 欠席

26日 第10回GAA定例会

6月1日 山武教室・東金教室へのカウンセラー訪問

6日 山武教室事例検討会

8日 大網白里教室事例検討会・大網白里教室へのカウンセラー訪問

16日 第11回GAA定例会

20日 東金教室事例検討会

適応指導教室「ハートフルさんぶ」学級担任連絡会議（～30日）

22日 横芝光教室事例検討会・横芝光教室へのカウンセラー訪問

24日 山武圏域連絡調整会議包括支援部会（山武健康福祉センター）

29日 大網白里教室へのカウンセラー訪問

第1回横芝光町長期欠席児童生徒及び生徒指導対策委員会（横芝光町町民会館）

7月4日 適応指導教室「ハートフルさんぶ」保護者との個人面談（～7月8日）

6日 東金教室へのカウンセラー訪問

第2回東金市小中学校長欠教育相談連絡会議（東金市役所）

- 8日 第1回教育相談推進委員会議（振興センター）  
令和4年度教育相談推進委員11名  
戸村弥生（日吉台小）・朝倉未恵（鳴浜小）・木下美佳（白里小）  
高橋信也（九十九里中）・福島真理子（芝山小）・河野恵梨奈（横芝小）  
新宮 晃（東金特別支援学校）・尾崎美恵子（大網白里特別支援学校）  
市原美由希（大網白里市立白里保育所）・土屋伊津子（芝山町第一保育所）  
遠藤裕子（山武市立日向幼稚園）
- 13日 大網白里教室へのカウンセラー訪問
- 20日 カウンセラー・指導員合同会議（振興センター）、山武教室へのカウンセラー訪問
- 21日 第12回GAA定例会
- 22日 家庭教育相談担当者協議会（東上総教育事務所）
- 8月4日 教育相談実践講座（オンライン） 参加人数 19名  
「相談支援の本質－主体の力を引き出すかかわり－」  
東洋大学名誉教授 中原 美恵先生
- 5日 教育相談実践講座（オンライン） 参加人数 11名  
「相談支援の本質－主体の力を引き出すかかわり－」  
東洋大学名誉教授 中原 美恵先生
- 4日 山武郡市広域行政組合専門委員会議（振興センター）
- 17日 令和4年第2回山武郡市広域行政組合議会定例会（振興センター）
- 18日 第13回GAA定例会
- 22日 令和4年第2回山武郡市教育相談センター運営委員会会議（振興センター）
- 25日 適応指導教室夏季休業中の開級日（～8月31日）
- 29日 教育相談担当者向け出前講座 参加人数 31名  
「教育の現代的課題－教育相談機関職員の視点から－」  
千葉県子どもと親のサポートセンター 研究指導主事 足立 直也先生
- 9月6日 第3回東金市小中学校長欠教育相談連絡会議（東金市役所）
- 7日 大網白里教室事例検討会・大網白里教室へのカウンセラー訪問
- 8日 第2回家庭支援関係ネットワーク会議（オンライン）
- 12日 山武教室事例検討会・山武教室へのカウンセラー訪問
- 14日 東金教室事例検討会
- 15日 第14回GAA定例会
- 28日 横芝光教室事例検討会・横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 30日 令和4年第2回山武郡市広域行政組合教育委員会会議定例会（振興センター）
- 10月3日 山武教室事例検討会
- 12日 大網白里教室事例検討会・大網白里・山武教室へのカウンセラー訪問  
第2回大網白里市いじめ・長欠対策及び生徒指導担当者会議（大網白里市役所） 欠席
- 19日 東金教室事例検討会・山武教室へのカウンセラー訪問
- 20日 第15回GAA定例会
- 26日 横芝光教室事例検討会・東金・横芝光教室へのカウンセラー訪問



- 11月4日 山武郡市広域行政組合専門委員会議（振興センター）
- 7日 山武教室事例検討会
- 9日 大網白里教室・山武教室へのカウンセラー訪問
- 11日 大網白里教室事例検討会  
第4回東金市小中学校長欠教育相談連絡会議（東金市役所） 欠席
- 14日 令和4年第1回山武郡市広域行政組合議会臨時会（振興センター）  
適応指導教室「ハートフルさんぶ」学級担任連絡会議（～25日）
- 16日 東金教室事例検討会・横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 24日 第16回GAA定例会
- 28日 横芝光教室事例検討会・東金・横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 
- 12月5日 適応指導教室「ハートフルさんぶ」保護者との個人面談（～10日）
- 6日 第2回横芝光町長期欠席児童生徒及び生徒指導対策委員会（横芝光町民会館）
- 7日 横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 8日 山武教室教室へのカウンセラー訪問・第17回GAA定例会
- 9日 第5回東金市小中学校長欠教育相談連絡会議（東金市役所）
- 13日 第3回家庭支援関係ネットワーク会議（オンライン）
- 14日 大網白里・山武教室へのカウンセラー訪問
- 19日 横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 23日 カウンセラー・指導員合同会議（振興センター）
- 
- 1月6日 適応指導教室開級・東金教室へのカウンセラー訪問
- 11日 大網白里教室事例検討会・大網白里・山武教室へのカウンセラー訪問
- 16日 山武教室事例検討会
- 18日 東金教室事例検討会・山武教室へのカウンセラー訪問
- 19日 第18回GAA定例会
- 23日 横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 25日 横芝光教室事例検討会・大網白里教室へのカウンセラー訪問
- 
- 2月2日 山武教室へのカウンセラー訪問
- 3日 第2回教育相談推進委員会議（振興センター）
- 6日 山武教室事例検討会
- 7日 大網白里教室事例検討会
- 8日 山武郡市広域行政組合専門委員会議（振興センター）  
第6回東金市小中学校長欠教育相談連絡会議（東金市役所）  
大網白里教室へのカウンセラー訪問
- 13日 横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 15日 東金教室事例検討会

- 16日 令和5年第1回山武郡市広域行政組合議会定例会（振興センター）
- 20日 適応指導教室「ハートフルさんぶ」学級担任連絡会議（～28日）  
東金教室へのカウンセラー訪問
- 22日 横芝光教室事例検討会・大網白里教室へのカウンセラー訪問
- 24日 横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 27日 東金教室へのカウンセラー訪問
- 28日 第3回横芝光町長期欠席児童生徒及び生徒指導対策委員会（横芝光町役場）
  
- 3月1日 山武教室へのカウンセラー訪問
- 2日 令和5年第1回山武郡市教育相談センター運営委員会会議（振興センター）
- 6日 適応指導教室「ハートフルさんぶ」保護者との個人面談（～14日）  
横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 8日 第7回東金市小中学校長欠教育相談連絡会議（東金市役所）  
大網白里教室へのカウンセラー訪問
- 9日 山武教室へのカウンセラー訪問
- 14日 第4回家庭支援関係ネットワーク会議（オンライン）
- 15日 東金教室へのカウンセラー訪問
- 20日 令和5年第1回山武郡市広域行政組合教育委員会会議定例会（振興センター）
- 22日 横芝光教室へのカウンセラー訪問
- 24日 カウンセラー・指導員合同会議（振興センター）

### 3 令和4年度教育相談センター活動実績・利用状況

#### (1) 相談活動実績報告

(令和4年4月10日～令和5年3月24日)

山武郡市教育相談センター

総件数 444 件

ア 内訳 【電話相談＝ 102 件 (新規 29 人)  
 【面接相談＝ 322 件 (新規 42 人)  
 【訪問相談＝ 20 件 (新規 2 人)

電話相談数
面接相談数

#### イ 相談の状況

##### (ア) 所属学年別分類【電話相談・面接相談】

所属	幼	小 学 校						中学校			高 校			他	合計
学年	*	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	*	***
男子	0	11	3	6	5	2	23	12	5	2	0	2	0	1	72
	0	10	2	17	7	19	32	13	34	32	15	16	0	0	197
女子	0	0	13	0	1	2	1	6	1	4	0	0	2	0	30
	1	0	2	14	17	15	5	32	19	19	0	0	1	0	125
小計	0	11	16	6	6	4	24	18	6	6	0	2	2	1	102
	1	10	4	31	24	34	37	45	53	51	15	16	1	0	322
合計	0	67						30			4			1	102
	1	140						149			32			0	322
総計	1	207						179			36			1	424

##### (イ) 相談内容別分類 (主に訴えるもの) 【電話相談・面接相談】

所 属	幼	小 学 校						中学校			高 校			他	合計
項目\学年	*	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	*	***
教師・学校	0	1	1	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	7
	0	0	0	3	1	1	2	1	1	5	0	0	1	0	15
学習・成績	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	5
	0	2	0	1	0	4	0	4	7	22	5	0	0	0	45
集団不適合	0	0	0	1	0	0	4	4	1	0	0	0	0	0	10
	1	0	0	1	8	9	12	8	6	6	1	0	0	0	52
不登校	0	0	1	2	1	0	0	4	1	1	0	0	0	0	10
	0	0	0	6	0	6	3	16	18	3	6	2	0	0	60
行きしぶり	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
いじめ・友人関係	0	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3
親子関係	0	4	0	1	1	0	11	1	0	1	0	2	0	0	21
	0	2	0	8	0	2	4	4	3	2	0	1	0	0	26
異性関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性格・習癖	0	0	4	0	0	0	7	4	2	3	0	0	1	0	21
	0	0	0	4	4	5	6	7	9	7	3	12	0	0	57
発達の遅れ	0	4	7	2	2	0	1	1	2	0	0	0	0	0	19
	0	4	4	8	10	4	8	3	8	6	0	0	0	0	55
多動	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
非行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	0	11	16	6	6	4	24	18	6	6	0	2	2	1	102
	1	10	4	31	24	34	37	45	53	51	15	16	1	0	322
総計	1	21	20	37	30	38	61	63	59	57	15	18	3	1	424

##### (ウ) 訪問相談所属学年別

所属	小 学 校						中学校			高 校			合計
学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	***
男子	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	14
合計	0	6	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	20

##### (エ) 市町別件数【電話相談・面接相談・訪問相談】

市町名	東金市	山武市	大網白里市	九十九里町	芝山町	横芝光町	不明	合計
電話相談件数	36	14	44	2	3	2	1	102
面接相談件数	69	88	110	16	20	19	0	322
訪問相談件数	6	0	0	0	0	14	0	20
合計	111	102	154	18	23	35	1	444

##### (オ) 月別実績【電話相談・面接相談・訪問相談】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談件数	7	10	7	8	4	9	12	7	3	5	12	18	102
面接相談件数	26	25	20	34	18	26	31	26	21	25	39	31	322
訪問相談件数	0	0	0	2	2	2	2	1	2	3	4	2	20
合計	33	35	27	44	24	37	45	34	26	33	55	51	444

(2) 適応指導教室利用状況

ア 実績通級者数(仮通級者を含む)

(ア) 月別延べ通級者数

( ) 内は利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大網白里教室	6 (34)	6 (61)	7 (69)	5 (37)	0 (0)	9 (73)	9 (93)	8 (96)	7 (59)	6 (62)	12 (90)	11 (100)	86 (774)
東金教室	4 (19)	7 (26)	9 (44)	11 (40)	2 (3)	7 (57)	11 (89)	10 (80)	11 (68)	13 (85)	12 (99)	12 (59)	109 (669)
山武教室	6 (18)	7 (23)	6 (58)	7 (31)	1 (5)	8 (62)	7 (65)	10 (88)	9 (74)	7 (57)	7 (74)	7 (48)	82 (603)
横芝光教室	4 (38)	4 (29)	5 (31)	5 (18)	3 (6)	5 (30)	8 (49)	6 (64)	6 (46)	7 (38)	8 (54)	6 (41)	67 (444)
合計	20 (109)	24 (139)	27 (202)	28 (126)	6 (14)	29 (222)	35 (296)	34 (328)	33 (247)	33 (242)	39 (317)	36 (248)	344 (2490)

イ 通級者数

(ア) 学年別通級者数

( ) 内は利用日数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
大網白里教室	1 (11)		2 (251)	4 (110)		1 (50)		5 (84)	5 (268)	18 (774)
東金教室			1 (10)	5 (353)	3 (10)	4 (40)	5 (95)	4 (111)	6 (50)	28 (669)
山武教室		2 (9)	2 (162)	2 (66)	2 (80)		4 (101)	1 (2)	7 (183)	20 (603)
横芝光教室			1 (13)		2 (60)	1 (9)	2 (105)	4 (216)	3 (41)	13 (444)
合計	1 (11)	2 (9)	6 (436)	11 (529)	7 (150)	6 (99)	11 (301)	14 (413)	21 (542)	79 (2490)

(イ) 市町別通級者数

( ) 内は利用日数

市町名	東金市	山武市	大網白里市	九十九里町	芝山町	横芝光町	合計
大網白里教室			18 (774)				18 (774)
東金教室	23 (627)	2 (6)		3 (36)			28 (669)
山武教室	4 (12)	12 (445)		1 (80)	3 (66)		20 (603)
横芝光教室		1 (92)			3 (191)	9 (161)	13 (444)
合計	27 (639)	15 (543)	18 (774)	4 (116)	6 (257)	9 (161)	79 (2490)

\*仮通級者を含む実際に教室に通った人数(ただし、4月復帰者を含める。)

ウ 手続き完了者数

( ) 内は新規手続き完了者数

(ア) 学年別手続き完了者数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
大網白里教室	0 (0)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	8 (5)
東金教室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	10 (5)
山武教室	0 (0)	1 (1)	2 (2)	2 (1)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	2 (1)	3 (1)	14 (10)
横芝光教室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (0)	3 (2)	7 (4)
合計	0 (0)	2 (1)	3 (3)	5 (3)	4 (3)	2 (1)	5 (5)	8 (4)	10 (4)	39 (24)

(イ) 市町別手続き完了者数

市町名	東金市	山武市	大網白里市	九十九里町	芝山町	横芝光町	合計
大網白里教室	0 (0)	0 (0)	8 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (5)
東金教室	5 (4)	2 (1)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (6)
山武教室	2 (2)	7 (3)	0 (0)	1 (1)	4 (3)	0 (0)	14 (9)
横芝光教室	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	4 (2)	7 (4)
合計	7 (6)	10 (5)	8 (5)	4 (2)	6 (4)	4 (2)	39 (24)

#### 4 令和4年度教育相談センター各事業の点検・評価

事業名	相談事業
取組内容	電話相談、面接相談、訪問相談を行う。
成果	<p>令和4年度の相談実績は、電話相談102件（新規電話相談29名）、面接相談は322件（新規面接相談42名）であり、訪問相談の件数は20件（新規訪問相談件数2名）。全体の相談総件数は、444件であり、前年度に比べ136件の減（前年度より電話相談件数14件増、面接相談件数78件減、訪問相談件数72件減）であった。その理由としては、各市町や各学校において、長欠・不登校の児童生徒に対する対応や支援の在り方等についての話し合いが充実してきたことや、スクールカウンセラーの全校配置により、相談場所が増えたことも要因の一つではないかと考える。また、訪問相談については、周知・広報活動が足りず、要請を得ることができなかった。</p> <p>相談内容については、「性格・習癖」「発達遅れ」「不登校」「集団不適應」に関する相談が多かった。このような状況の中で、面接や電話相談から適応指導教室に通級したり、関係機関につながったりしたケースもあった。</p> <p>コロナ禍の生活を経て、自分の居場所を模索している児童生徒がいる。山武郡市内の教育に関する様々な悩みや外出できない児童生徒へのサポートができるよう、今後も電話・面接・訪問相談の充実を図っていくことが重要である。</p>
自己評価	○ おおむね期待どおりの成果である。
課題・問題点等	相談内容によっては、学校や関係機関との連携を図ることが重要である。引きこもっている児童生徒には、訪問相談の活用について学校に更に周知して、連携を図っていく。

事業名	適応指導教室事業
取組内容	ハートフルさんぶ大網白里教室、東金教室、山武教室及び横芝光教室の4適応指導教室を設置している。山武郡市広域行政組合教育委員会が運営することにより、山武郡市内に居住している児童生徒が、どの教室にも通級できる自由選択制を導入している。
成果	<p>令和4年度の4教室の通級者は79名（前年度より14名増）であり、教室ごとの内訳は、大網白里教室18名、東金教室28名、山武教室20名、横芝光教室13名であった。前年度からの継続通級者は27名、新規通級者は52名であった。様々な過程を経て学校復帰、一部復帰できた児童生徒は22名であった。中学3年生の通級者21名の進路については、在家庭1名を除き20名は上級学校に進学した。通級を通して落ち着いた環境の中で生活し、気持ちも安定した中で、自分の進路の実現に目を向けて自ら努力できた成果であると考えられる。また、各学校（担任）との連携に努めたことも効果的であったと言える。</p> <p>適応指導教室の自由選択制により、4適応指導教室を、児童生徒は実情に合った教室を選択して通級することができた。</p>
自己評価	○ 期待どおりの成果である。
課題・問題点等	通級している児童生徒の中には、適応指導教室へ通級できなくなった児童生徒がいる。在籍校との連携を図り、訪問相談等を含めた個々に応じた対応をしていく必要がある。また、「子どもの安心できる居場所・学校への復帰」として今後も指導員と共通理解を図りながら取り組んでいく必要がある。

事業名	研修講座事業
取組内容	教育相談に関する実践力を高め、現場での相談活動の中核として活動できる力量を形成するための研修を実施する。
成果	<p>教育相談実践講座を8月4、5日の2日間、Zoomで開催し延べ30名の参加があった。講師については、毎年継続して講座を担当していただいております。助言や体験を通しての内容等も適切であることから、参加者から好評を得ている。</p> <p>また、教育相談担当者向け出前講座を8月29日に、対面で開催し、31名の参加があった。事例を見立てて力量を高める研修であり、新学期からの実践に役立つ充実した講座であった。</p>
自己評価	○ おおむね期待どおりの成果である。
課題・問題点等	教育相談実践講座は、費用対効果を鑑み、今後は廃止としたい。出前講座については、受講者のニーズに即した開催時期、実施内容等を十分検討し、参加しやすい日程を組むことにより、受講者数の増加及び講座の充実を図っていくことが必要である。

学識経験者の意見	<p>はじめに、山武郡市広域行政組合教育委員会が、山武地域の児童生徒の抱える課題を把握・検討しながら「教育相談センター」業務を展開されていることを高く評価したい。政令指定都市や中核市においては、単独でセンターを設置している状況であるが、予算等の問題もあり、センターの設置に至っていない状況の市町村も少なくない。そのような状況において、4教室を設置し、通級教室の自由選択制を導入した運営を行っていただいていることに深く感謝したい。</p> <p>「相談業務」については、実績数が前年度に比べて減少との報告であるが、電話、面接、訪問のどの相談形態でも、新規相談者が一定数いる状況であることから、教育相談センターに求められる役割を十分に果たしていると考えられる。</p> <p>「適応指導教室事業」については、先に述べたように、4教室設置による、通級教室の自由選択制が有効に機能していることが、市町村別の通級状況報告からも見て取れる。学校への登校に不安を抱え、適応指導教室への通級を考える児童生徒にとって、通級先の教室の雰囲気や、どこの学校の子が来ているのかということは、とても気になる点である。そのような点において、通級先を選択する余地があることは、不安を抱えた児童生徒に、安心感のある居場所を提供する視点からもとても重要であり、今後も継続した運営をお願いしたい。</p> <p>「研修講座事業」についても、大学教授や臨床の専門家を招聘しての講座運営を行っていただき、一定の成果を得ていると考える。費用対効果の観点から、教育相談実践講座については今後廃止の方向とのこと。残念な思いもあるが、今後、別な形での研修講座事業の展開に期待したい。若年層の教員が増加している状況があり、教職員の中からは、より実践に即した「事例検討研修」を望む声が多く聴かれる。講師料等の費用を抑えつつ、教員同士が目の前の事例について意見を出し合い、互いに磨き合える研修の場を提供していただくことに今後期待したい。</p>
----------	---